



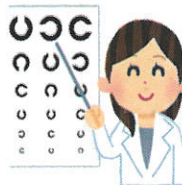
# 明和病院だより



2017年6月号

## (1) 医師から皆様へ く 緑内障はどんな病気？

緑内障は何らかの原因で視神経が障害され見える範囲(視野)が狭くなる病気です。目の圧力(眼圧)に耐えられなくなると視神経は傷ついてしまいます。一度傷ついた視神経は元に戻りません。そのため、早期に発見して治療を行い病気の進行を止めることが大切です。放っておいて進行してしまうと失明にいたることもあります。緑内障は病気による失明の第一位となっています。



### ●40歳以上の20人に1人は緑内障●

緑内障の有病率は40歳以上で5%といわれています。珍しい病気ではないにもかかわらず、治療をうけているのは1割程度で9割は未発見のままです。緑内障は初期の変化では自覚症状がほとんどないため気付かないことが多く、知らないうちに症状が進んでいることもあります。40歳を過ぎたら、定期的に眼の検査をうけて早期に緑内障を発見することが大切です。

### ●緑内障の検査●

眼圧が正常だから緑内障ではないといえません。緑内障のほとんどが正常眼圧緑内障といわれ眼圧は正常範囲内です。緑内障の診断のためには、眼底検査で視神経の状態を見なければなりません。緑内障になると視神経乳頭部のぼみが大きくなります。次に視野検査で見えない範囲の存在の有無や大きさから進行の度合いを調べます。

### ●緑内障の治療●

緑内障の治療は、病気の進行を抑えることが目標です。そのためには眼圧を下げるのが大切です。眼圧を下げる方法はまず点眼薬を使用します。まず1種類の点眼薬から開始し、効果がない場合は薬を変更したり2、3種類の薬を組み合わせ使用することもあります。点眼薬で眼圧を十分に下げることができない場合は手術をおこないます。しかし手術をしたからといって緑内障が治るわけではなく、あくまでも進行させないための治療です。

### ●眼を守るために●

ほとんどの場合、緑内障は自覚症状がありません。(自覚症状のある緑内障もあります。)知らないうちに進行していることもあります。大切なのは早期発見、早期治療です。一度障害された視神経をもとに戻す方法はないため進行を止めることが大切になります。自分自身で眼を守るために発見の機会となる健康診断や定期検査を受けることをおすすめします。 眼科部長 田中 久子

## (2) 医療講座(公民館主催)のお知らせ

- ・演 題 : 糖尿病とその合併症について
- ・講 師 : 総合診療科 医長 高屋 豊
- ・日 時 : 6月14日(水) 14:00~15:30
- ・場 所 : 高須公民館(Tel 49-1312) ※無料(参加自由)



## (3) 職員・パート募集のお知らせ



職員・パートの方を募集しています。一緒に明和病院で働きませんか? 詳細はホームページをご覧くださいか、人事企画課(代表0798-47-1767)までお電話にてお問合せください。

- ◆職 員 : 薬剤師、社会福祉士
- ◆パート : 歯科衛生士、ケアマネジャー、訪問看護事務員

## (4) レストラン、コンビニ、医療売店のご案内

本館5階にレストラン、南館1階にコンビニ及び医療売店が営業をしておりますので、ぜひご利用ください。

〔営業内容〕

店 名	営業時間		
	平日	土曜日	日曜・祝祭日
喫茶・レストラン 無糖派がイング「ひさ家」	7:30~18:30 ※オーダーストップは30分前	7:30~15:00	休 業
コンビニ 「サークルKミニ」	7:30~20:00	7:30~15:00	7:30~13:00
医療材料売店	9:00~17:00	9:00~13:00	休 業